

2回目シスターズ・リレー

**被災地 米川ベース・南三陸
・大籠殉教地**

2011年7月21日～30日

幼きイエス会

小林 登貴子

なぜ2回も

- 1回目の釜石での体験の穴埋め
（大槌町での惨事を見てパニックになり、充分確認が出来なかった。）
- 聖書、聖パウロの様に熱心に奉仕をするよう感じたから。
- シスターや友人達の励まし etc.

ベースキャンプの前で



ベースキャンプの前で







津波の境目





防災センター



後方病院 船が突っ込んでい
る



屋上に車が















高台は、無害



船がここまで









殆どが津浪にさらわれた





病院の 2 階に船が突っ込ん
で













津浪は上まで浸かったそうです



ボランティアの方達







防災センター



川に沿って山の奥まで津浪が . . .





大籠殉教地を訪ねて

- ベースから車で30分ほどの所、岩手県・藤沢町に大籠キリシタン殉教公園があります。
- 江戸時代はじめ300人をこすキリシタンが大籠で殉教。いかなる迫害にも屈しないで信仰の道を守り抜いたキリシタンを讃えて建てられた資料館がある。
- 処刑現場も見学できて、長崎の26聖人を思い出し、先人達の信仰に触れることが出来た。

大籠キリシタン史跡案内図

Map Of Okago Christian Historical Site



① 架場首塚
Hasaba Head Display Site



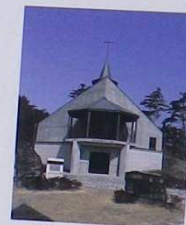
② 大籠カトリック教会
Okago Catholic Church



③ 千松大八郎の碑
Senso Daihachiro's Monument



④ 大籠キリシタン殉教公園 (資料館)
Okago Christian Martyrdom Memorial Museum



⑤ クルス館
Kurusu Museum



大籠キリシタン史跡保存会
Okago Christian Historical Site Reservation Council

平成14年3月
March, 2002

この石に腰掛けて役人は、処刑を命
じ、監視した。





一名無情の辻と云う寛永十六年
百七十八名その後の処刑を含み二百名
が打首十字架等に依り集團大刑
が行われその鮮血が刑場下の股川を
血に染めた無残なこと筆紙に尽し難
きものがあつたその跡菩提のため地藏
が建てられ又南無阿弥陀佛寛政四年
刻んだ五尺の碑庚申塚地藏尊は宝暦五
年その他大小十基の供養碑が建っている
この首のない地藏尊の石には次の如く
刻まれている大七妻大柄沢惣兵衛
妻藤五郎右門清兵衛國助妻夫
や息子が殉教したのでその母や妻が
地藏尊を建てる旨六福を祈る心
その心情に一掬の涙なきを得な

大龍教会



●藤沢町むらおこし実行委員会

大籠主! シタン史の概要

[illegible]





大籠の聖母

大籠キリシタン小史

言い伝えによると、永禄年間（一五五八～六九年）に千松大八郎・小八郎兄弟がこの大籠の地に来て、鉄の精練に従事しながら、キリスト教の伝道をしたと伝えられる。

この大籠を中心に狼河原（宮城県・米川・馬籠（本吉町）で倭屋八人衆の下、南蛮流製鉄で良質の鉄を増産したが、そこで多数の信徒が働いていた。

伊達正宗のキリシタン禁止は比較的柔軟であったが、元和六年（一六二〇年）禁教令を出し弾圧に乗り出した。

フランスコ・バラヤス（孫右衛門）神父は、この頃から潜入して布教し、信徒数は日に日に増加して隆勢を極め当時あった三つの寺が廃寺となり今日に至っている。

その一つ大聖寺（大松寺）跡からは室町時代の板碑（金箔含む）が大量に出土している。

正宗が没した後、島原の乱が起るとバラヤス神父は捕縛され江戸で殉教した。

大籠では、寛永十六（一六三九）年に地蔵の辻で八四名、寛永十七（一六四〇）年地蔵の辻上野刑場で各九四名、その他合計三〇〇名以上の殉教があった。

周辺には多数の遺跡があり一九六七年には、千松地所で直径十二センチ余りの貝に彫刻された「キリストの復活」の絵のメダイが発見されている。

大籠のキリシタンを顕彰するため、「大籠キリシタン資料館」「クルス館」、遊歩道には「十字架の道行」が設置され、一九九六年（平成八年）に「大籠キリシタン殉教公園」が完成した。隣り町宮城県東和町米川には、キリシタン史跡として「大柄沢ミサ洞窟」「三経塚」「後藤寿庵の墓」があり、教会が建立されている。

カトリック大籠教会

大籠教会は、仙台教区 浦川和三朗司教から岩手県の布教を委任されたスイスのベトレヘム外国宣教会が、一九五二年に大籠の殉教者を顕彰するために建立し、同年十二月十一日、ローマ教皇、使節バチカン公使フルステンベルク大司教によって献堂祝別式が挙行された。

設計 フロイエル神父（ベトレヘム外国宣教会）
土地 キリシタン史跡保存会寄付、教会買収合わせて四七五坪（1567㎡）

聖堂内に「聖母マリア像」（木像 高さ約一米）欠畑美奈子氏作
「ロザリオの三奥義」（油絵）村田佳代子氏作

聖堂の壁に「十字架の道行」の絵 欠畑美奈子氏作

平成十四年十二月二日大籠キリシタン保存会建立

十字架の道行き



大籠殉教クルス館



彫刻家 船越保武氏の作品



南三陸町でのボランティア

- ・ したこと

写真の洗浄

泥にまみれた写真を丁寧に洗う。

災害ボランティアセンター

- アリーナ（体育館）には、お棺とお骨が安置されている。
- 警察の厳重な警備体制であったが、お祈りできる。
- 近くに、テントを張ったボランティアセンターの事務所がある。一般のボランティアは、ここで仕事の打ち合わせや、希望を言う。

アリーナ、死体が安置されている所





写真の洗浄作業





感想

- ベース（米川）と被災地（南三陸町）が離れていたため心の切り替えが出来てよかった。
- 祈りの雰囲気があり、ボランティアの長期滞在者がよく支えている。
- 地域の集会所を借りてベースがあるため、近所の人と、交流が盛ん。
- 美しい自然の中で、それだけで癒される。
- 近くに殉教地があり、巡礼できる。

感謝